

令和 5 年度緑区区政運営方針

(みどりっちプラン)

基本目標：笑顔のあふれるまちをめざして

将来像 1	安心・安全で快適に暮らせるまち	2
施策 1	安心・安全で災害にも強いまち	2
施策 2	環境にやさしく快適なまち	6
施策 3	地域をつなぐ絆づくり	7
施策 4	協働によるまちづくり	9
施策 5	便利で住みよいまち	10
将来像 2	子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち	11
施策 6	子どもの健やかな育ちを支えるまち	11
施策 7	人にやさしい福祉のまち	13
施策 8	健康づくりができるまち	15
将来像 3	魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち	16
施策 9	魅力の発信と観光推進	16
施策 10	歴史・伝統の継承	16
施策 11	文化・芸術・スポーツ活動の支援	17
将来像 4	親しまれ信頼される区役所づくり	19
施策 12	快適な市民サービスの提供	19
施策 13	区役所機能の強化	20



名古屋市緑区役所

この区政運営方針は、「緑区将来ビジョン」（計画期間：令和2～5年度）に基づき、毎年策定しています。緑区の現状や地域の課題をふまえ、行政サービスを向上し、区民生活の充実を図るため、令和5年度の区政の主な取り組みをお示しするものです。

令和5年度に緑区は区制60周年を迎えました。

区制50周年の際には緑区のマスコットキャラクター「みどりっち」や緑区の応援団「みどサポ」が誕生するなど、区民の皆さんと区役所との関係性が深まりました。令和5年度は、以下のような取り組みを着実にすすめつつ、区制60周年を彩るメモリアルプロジェクトも予定しています。そうした中で、緑区の魅力である資源を磨き上げるとともに、それらの魅力資源と人とを結びつけ、次の10年に受けつがれるレガシー（財産）づくりをめざします。

また、緑区では、SDGs（※）の理念を踏まえながら、取り組みを進めていきます。

※SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略です。



将来像 1 安心・安全で快適に暮らせるまち

将来ビジョンの成果指標	将来ビジョン策定時の数値	直近の現状値	目標値 令和 5 年度
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	76.6%	85.4%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	57.8%	61.1%	100%
地域活動やボランティア・NPO活動に参加している人の割合	42.2%	38.3%	48%



《令和 5 年度の具体的な取り組み内容》

施策 1 安心・安全で災害にも強いまち

【重点事業】緑区の災害リスクを視覚的に表現した地形模型を作成します 新規 (区役所(総務課)はじめ各公所(署)) 令和 4 年に公表した新しい災害ハザードマップを、視覚的に特徴が理解できる地形模型で表現し、各種防災訓練や防災関連イベントでの展示を実施して、防災意識の向上を図ります。 【区特性に応じたまちづくり事業】【「区まちづくり基金」を活用した事業】 目標:「緑区防災フェスタ」をはじめとした防災イベントのほか、各地域で実施される集会や防災行事への出展等使用回数 5 回

大規模災害に備え各種防災訓練を実施します 区役所(総務課)、緑消防署はじめ各公所(署) 南海トラフ巨大地震や風水害に備え、各種防災訓練を実施します。地区防災カルテを活用したり、要配慮者への視点を取り入れたりするなど、地域特性や地域のニーズに応じた実効的な訓練を実施し、防災意識の向上と地域防災力の強化を図ります。			
訓練名	開催日	訓練会場	訓練想定
総合水防訓練	5 月 28 日(日)	大高南小学校	風水害
総合防災訓練	9 月 3 日(日)	鳴海東部小学校	地震
宿泊型避難所開設訓練	9 月 16 日(土) 17 日(日)	平子小学校	地震
全学区避難所開設訓練	7 月～11 月	区内 28 学区	風水害・地震
目標:各訓練参加者アンケートにおいて、訓練全体について「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95% (4年度実績 全学区避難所開設訓練 96%、総合水防訓練及び総合防災訓練 95%)			

【重点事業】緑区防災フェスタを開催します（区役所（総務課）はじめ各公所(署)）
日常的な備えや災害時に役立つ様々な知識を楽しみながら学ぶことができる体験型プログラムが豊富な防災・減災イベント「緑区防災フェスタ」を11月25日(土)に区役所において開催します。
目標：来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 95% (4年度実績 96%)

区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発に取り組みます（総務課）
区民の自助力向上を図るため、緑区で活動する名古屋みどり災害ボランティアネットワークや家具転倒防止ボラ緑と、訓練やイベント等で連携協力して防災啓発に取り組みます。

区民の皆様が安心・安全で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進します (地域力推進室、保健センター、緑警察署、緑消防署、緑環境事業所、緑土木事務所)
安心・安全で快適なまちづくり推進のため、警察などの関係機関や地域の皆さまと連携した犯罪・事故防止の対策・啓発キャンペーンの実施とともに、消防などの関係機関と連携して空地・空家の適正な管理の促進などに取り組みます。 また、オリジナル横断幕を利用して、交通安全、防犯の啓発に取り組みます。
目標：アンケートで「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 95% (4年度実績 97%)

放火されない環境づくりを推進します（緑消防署）
火災原因上位の放火に対して、地域の皆さまと協力して「放火防止パトロール」や「住宅防火に関する相談会」を行うことで、区民の皆さま一人ひとりの防火意識の高揚が図れます。 また、火災の早期発見に有効な住宅用火災警報器の設置促進に取り組みます。
目標：放火防止パトロール2回実施（4年度実績 2回） 住宅防火（住宅用火災警報器の設置・交換）に関する相談会 2回実施 (4年度実績 2回)

みどり市民病院から犯罪の抑止、生活・安全に関わる情報啓発を行います (名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院、緑警察署)
各種犯罪防止啓発活動について、院内において、通常診療時の待ち時間に視聴して頂けるデジタルサイネージ(院内情報モニター)を活用した情報提供の取り組みを行います。 また、みどり市民病院が開催する市民向け健康講座等の機会にあわせて、犯罪防止啓発活動を行います。
目標：デジタルサイネージによる情報提供の更新回数 年4回（4年度実績 4回以上）

災害時における共助のしくみづくりを推進します（総務課、緑消防署）
大規模災害による人的被害を最小限にするため、安否確認訓練を各種防災訓練に取り入れるなど、共助のしくみづくりを推進します。
目標：総合水防訓練及び総合防災訓練参加者アンケートで、安否確認訓練について「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%（4 年度実績 95%）

地区防災カルテを活用した地域防災活動を推進します（総務課、緑消防署）
地域の皆さまが自主的・主体的に地域の防災について考え、活動できるように地区防災カルテを活用し、区署のほか防災関係機関が連携し地域特性や地域のニーズに応じた地域防災活動を支援します。
目標：地区防災カルテを活用した防災訓練等実施学区 28 学区（4 年度実績 22 学区）

防災に関する講座を行います（緑生涯学習センター）
区民の防災意識啓発のため防災に関する講座を、緑区社会福祉協議会をはじめ、関係機関やボランティアグループと連携して実施します。
目標：防災に関する講座、事業の開催 5 回（4 年度実績 5 回）

災害ボランティアセンターの役割を PR します（緑区社会福祉協議会、総務課）
災害ボランティアセンターが、大規模災害発生時に、被災者のニーズにあったボランティアを派遣し、被災者の生活に寄り添って復旧・復興に向けた支援を行うことを普及啓発するとともに、効果的なセンター運営を円滑に行うため、関係者によるセンター立ち上げ訓練を行います。
目標：イベントでの PR 活動やセンター立ち上げ訓練の実施年 4 回（4 年度実績 3 回）

消防団員の確保を支援します（緑消防署）
南海トラフ巨大地震や近年多発している豪雨災害に対応するため、消防団員の充足率向上を図る必要があります。そのため、各種行事などを通じて積極的に消防団員募集広報を行い、消防団員の確保に努めます。

区民一人ひとりの防災力の向上を図ります（緑消防署）
南海トラフを震源とする巨大地震などによる被害は、十分な震災対策を行えば大幅に軽減できるとされています。区民の皆さま一人ひとりに対し、家具などの転倒防止や地震火災対策等で、事前に備えることの重要性を様々な機会を利用して積極的に啓発します。
目標：戸別訪問による啓発活動 7 学区（4 年度実績 7 学区）

事業所と地域との支援協力体制を推進します（緑消防署）
地震や台風などの大規模災害時には、事業所と地域の住民との一体的応急活動が必要です。このため、区内の事業所が所有する建物、土地、資器材などを地域住民の方々が活用できるよう、事業所と地域双方の協力体制の構築を支援します。
目標：支援協力に関する覚書の締結 91 事業所（4 年度実績 92 事業所）

災害活動の迅速な対応をめざし、名水協との連携強化を図ります（上下水道局緑営業所）
災害時に名古屋市指定水道工事店協同組合（名水協）の協力を得ることで応急給水をはじめとする災害活動の迅速化を図れるよう、防災訓練などを通じて名水協緑支部との連携体制を強化します。

施策 2 環境にやさしく快適なまち

緑区クリーンキャンペーン・なごや 2023 を実施します (地域力推進室、保健センター、緑環境事業所、緑土木事務所)
まちの美化を推進するため、地域と行政が協働して清掃を行う、「緑区クリーンキャンペーン・なごや 2023」を 6 月 3 日(土)を中心に開催します。
目標：メイン会場参加者アンケートで「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合 95% (4 年度実績 99%)

緑区環境バザーを開催します (地域力推進室)
リユースに対する意識を高めるため、区内の女性団体が中心となり、5 月 27 日(土)に区役所講堂において「緑区環境バザー」を開催します。
目標：売上 1,200 点 (4 年度実績 1,060 点)

環境デーなごや 2023in みどりを開催します (緑生涯学習センター)
本市の環境デーなごや事業の一環として、「生き物」や「食」などのテーマの中で、環境保全などに関する活動をしている方を講師とし、体験を通して環境の大切さや素晴らしさを学ぶことができるような事業を開催します。
目標：参加者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95% (4 年度実績 100%)

地域環境イベントを開催します (緑環境事業所、南東部公害対策担当)
ごみ問題や地球温暖化対策など、環境問題に関心を持つきっかけとするため、6 月 10 日(土)に「地域環境イベント」を開催し、環境問題に主体的に参画する人づくり・人の輪づくりを推進します。
目標：参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95% (4 年度実績 100%)

資源・ごみの分別推進に取り組みます (緑環境事業所)
6 月、11 月の分別マナーアップ推進月間をはじめとして様々な機会をとらえ、資源とごみの分別の徹底を呼びかけ、ごみ減量や再資源化の取り組みを推進し、さらなるごみ減量をめざします。

ペットの適正な飼育の普及啓発により環境美化を推進します (保健センター)
ペットによる迷惑を防止するため、散歩中に排泄させない、危害を起こさせないしつけの推進に取り組みます。また、災害発生時におけるペットの災害対策についても普及啓発します。
目標：ペットに関する啓発活動 5 回 (4 年度実績 5 回)

施策 3 地域をつなぐ絆づくり

【重点事業】緑区区民まつりを開催します（地域力推進室）
ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、10月28日(土)に大高緑地において「緑区区民まつり」を開催します。緑区の魅力を発信するとともに、区民の皆さまのふれあいと交流の場として地域の絆・連携を深めます。
目標：来場者アンケートで、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95% (4年度実績 98%)

町内会・自治会への加入を促進します（地域力推進室）
町内会・自治会加入促進のため、区役所・支所への「みどりっちポスト(町内会・自治会加入申込受付ポスト)」の設置とあわせ、電子申請システムを活用し、加入希望者の申し込み手段を一部電子化するなどの利便性向上を図ります。また、加入促進リーフレットの学区行事や各種キャンペーンでの配布、コミュニティ交流会などを通じた地域活動の支援に取り組みます。
目標：学区行事や各種キャンペーンでのリーフレット頒布 10回（4年度実績 6回）

緑生涯学習センターまつりを開催します（緑生涯学習センター）
緑生涯学習センターを利用している自主学習グループ相互の交流と日頃の学習成果発表の場の提供を目的とした「緑生涯学習センターまつり」を11月の土日に開催します。グループ活動の周知・活性化を目的として、「SNS」での情報配信や「サイネージ」を使った後日の動画発表を、グループと協力しながら実施します。
目標：来場者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95%（4年度実績 95%）

徳重地区会館まつりを開催します（徳重地区会館）
地域のボランティア、地区会館利用者の方々にご協力いただいて「第12回地区会館まつり」を11月19日(日)に開催します。 ゲームや体験教室など、幅広い年代の方が気軽に参加できるイベントを計画、実施します。
目標：参加者アンケートで「満足」と答えた方の割合 95%（4年度実績 91%）

徳重地区会館における住民参加型自主事業を実施します（徳重地区会館）
アンケートで得た要望をふまえ、あらゆる年代を網羅した事業を計画し実施します。 また、人気の事業は引き続き計画しますが、参加人数や実施回数を増やすなど、多くの方々が参加できるように見直し、改善をいたします。
目標：実施事業 10事業（4年度実績 10事業）

区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します（東部・緑農政課）	拡充
新鮮な野菜や果物を扱う直売所や朝市での買い物の際のやり取りを通じて、区民が区内の農家と交流を深めていただくとともに地産地消を推進するため、7月から10月にかけて「地産地消スタンプラリー」を実施します。5年度は区制60周年であることから、新たな景品を追加し、実施期間を延長します。このほか、区役所での農産物展示販売など地産地消の取り組みを引き続き実施します。	
目標：ハガキの有効応募件数 500 件（4 年度実績 408 件）	

人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進室）	
価値観や考え方が複雑化・多様化する現代において、市民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見がなく、互いの個性を認めあい支えあうまちづくりをすすめていくため、様々な分野の人権問題を、市民一人ひとりが自らの問題として気付き、学び、行動できるようにするための講座・事業を開催します。	
目標：人権に関する講座・事業の開催 6 回（4 年度実績 6 回）	

施策 4 協働によるまちづくり

【重点事業】人と人の交流、活動の輪を広げる取り組みを実施します 新規 (プロジェクトチーム)
緑区の魅力を支える方々に感謝と尊敬の気持ちを込めるとともに活動をつなぐプロジェクトを展開します。 具体的には、緑区の魅力を支えつなぐ方々の取り組みにスポットを当て、活動を区民の方々にも知っていただくとともに、活動する人同士、また、次の担い手づくりができる交流の場として「交流会」を実施します。 【区の特性に応じたまちづくり事業】 【「区まちづくり基金」を活用した事業】
花・水・緑の公園通り推進事業を促進します（地域力推進室）
花と緑のまちづくりを推進するため、花水緑の会と協働で花植え・緑化活動や各種イベントでの花植え・緑化活動を行い、花水緑の会の活動を支援してまいります。
目標：イベントなどでのアンケートで「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%（4年度実績 98%）
区民プラザにおける区民活動を支援します（支所）
地域住民の憩いと集いの場であるユメリア徳重内の区民プラザを安心・安全・快適な空間とするため、地元ボランティアグループ「みどり区民プラザサポータークラブ」が取り組む施設の案内・見守り活動を始め、季節ごとのイベントの実施や、情報誌の発行などの活動を支援します。また、区民交流の場としての機能を向上させるための検討を行います。
目標：案内・見守り活動 1週間あたり 8回（4年度実績 8回）
ボランティア団体の竹林整備事業を支援します（みどりが丘公園事務所）
公園の緑や環境の保全を目的に、なごやの森づくり活動団体「なごや竹和会」の竹林整備活動をサポートします。また、みどりが丘公園会館で開催される「なごや竹和会」主催の各種体験教室（竹材活用講座・園芸教室・竹細工教室など）も支援します。
目標：竹林整備 9回 活動紹介展示会 1回（4年度実績 竹林整備 9回 展示会 1回）
花づくりボランティア「みどりが丘公園ララフルール」の育成に取り組めます (みどりが丘公園事務所)
より質の高いボランティアの育成を目的に、「なごや花づくりネットワーク」を活用した交流会や講習会、技術スタッフによる日常的なアドバイスを行うほか、プランターや花壇の草花管理、イベントの企画運営補助など協働・連携して取り組みを行います。
目標：活動回数 40回(週1日 ただし、雨天中止)（4年度実績 33回）

施策5 便利で住みよいまち

道路・公園の整備をすすめます（緑土木事務所）
機能的な都市活動と安心で安全な市民生活を確保するため、都市計画道路（古鳴海停車場線）の整備を継続して行います。 また、みどりが丘公園は、引き続き合葬式墓地周辺の休憩所等の整備をすすめます。

市街地の整備をすすめます（緑都市整備事務所、地域力推進室）
鳴海駅前では、駅北部のA・B工区において地区を活性化する施設建築物の早期建築をめざし、市街地再開発事業をすすめます。また、事業完了後の姿を見据えたまちづくりについて、地域住民の意見を踏まえて関係機関と連携します。大高駅前では、生活環境の改善と防災性の向上を図るため、土地区画整理事業と大高町線街路事業をすすめます。



誰もが安心して利用できる市バスをめざします（交通局緑営業所）
市バスは、区民の皆さまにとって通勤、通学、買い物など、日常生活に欠かせない交通手段です。その機動性を活かして、皆さまが安心してご利用できるよう、安全・安心・快適な運行に努めます。

将来像 2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいき と暮らせるまち

将来ビジョンの成果指標	将来ビジョン 策定時の数値	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	84.9%	84.9%	86%
生きがいや楽しみを持って生活していると感じている高齢者の割合	78.3%	76.5%	80%
健康寿命 (平均寿命)	男性 80.50 年 女性 84.60 年 (男性 82.00 年) (女性 88.07 年)	男性 80.97 年 女性 85.27 年 (男性 82.72 年) (女性 88.54 年)	平均寿命の延びを 上回るよう延伸



《令和 5 年度の具体的な取り組み内容》

施策 6 子ども・の健やかな育ちを支えるまち

【重点事業】みどり親育ちのがっこう(子育て講座)を開催します 【拡充】 (民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館)
各年代(乳児から中高生)の子を持つ親に対して、関係機関・団体が連携し、子育て知識の習得や仲間づくり、父親の育児参加の機運の醸成など、親が親として育つことを応援する様々な学びの場を企画・開催し、子育ての悩みや孤立などの解消に努めます。また、就労中の保護者も参加しやすい土日開催の講座を増やします。
目標:連続講座受講者の子育てに対する自己評価(10段階評価)の全体平均 受講の前と後で3段階以上改善 (4年度実績 3.4段階向上※) ※4年度「たたかない どころない 子育て」「Nobody's Perfect プログラム完璧な親なんていない!」の結果

【重点事業】児童虐待を防止します (民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会、緑警察署) 【拡充】
児童虐待を防止するため、学校、保育所、幼稚園、児童委員のほか、日頃から児童に接する機会の多い団体などと連携して早期発見・早期対応し、支援を要する児童や家庭への援助を行います。また、5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」を始めとする児童虐待防止に関する周知を関係機関・団体と連携して展開していきます。 (4年度実績 支援が必要な家庭に対して早期対応のための会議 毎月1回開催 「児童虐待防止月間」の11月1日に区役所職員がオレンジマスクを着用した啓発活動 親支援プログラム講座 3回 子育て講座 2回)

子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します（保健センター）
子どもの発達が心配な保護者向けの子育て教室を開催するとともに、障害児や医療的ケアが必要な児童の保護者やそのグループ向けの講演会・交流会を開催・支援します。
目標：発達が心配な幼児と保護者対象の「子育て教室」 4 回開催 障害児や医療的ケア児と保護者対象の講演会・交流会 2 回開催 障害児や 医療的ケアが必要な児童の保護者のグループへの保健師参加 各グループ 1～2 回 （4 年度実績 「子育て教室」 4 回開催、講演会 1 回開催、保護者グループへの保健師参加延べ 11 回）

子どもの事故予防・救急法教室を開催します（保健センター）
子どもの死因の上位である“不慮の事故”を防止し、その命を守るため、親や周囲の大人が事故予防や救急法・心肺蘇生法を学ぶ「子どもの事故予防・救急法教室」等を開催します。
目標：「子どもの事故予防・救急法教室」実施回数 14 回 280 人 3 か月児健康診査における講話 実施回数 44 回 計 880 人 （4 年度実績 子育てサロン 実施回数 20 回 200 組 3 か月児健康診査における講話 実施回数 44 回 計 977 人）

子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します 拡充 （民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館）
子どもが豊かに育つ地域づくりをめざして、民生委員児童委員やNPOと協働し、子どもの遊び場・地域の交流の場としての「プレーパーク」(※)を区内 4 か所で定期開催を行います。また、「子ども会」の活動の魅力を高められるよう、老人クラブなどの地域の団体との連携を支援する方策を検討します。 (※プレーパーク：子ども自らが「やってみたい」という衝動や好奇心によって、さまざまなことに挑戦し、冒険できる遊び場)
目標：大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区、片平地区でのプレーパークの開催毎月 1 回実施（4 年度実績 大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区で毎月 1 回、片平地区で試行実施 年 3 回）

子ども向けのシリーズ事業「ゆめみどり」を開催します（緑文化小劇場） 拡充
地域の未来を担う子どもたちに文化芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、交流・創造の場を創出するため、子ども向けの公演やワークショップを開催します。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%（4 年度実績 81%）

子ども読書活動を推進します（緑図書館、徳重図書館、保健センター）
乳幼児が成長過程で読書に親しみ、図書館へ通うきっかけ作りの活動に取り組みます。「はじめての本との出会い事業」として、保健センター及び徳重分室での健康診査の待ち時間を利用して、絵本の紹介や読み聞かせをボランティアの方と協力して実施します。

施策 7 人にやさしい福祉のまち

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるための取り組みを行います (福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、 医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関)
高齢者が安心して暮らせる地域づくりのため、地域のニーズを把握しつつ、医療、保健、福祉、介護の関係機関と連携し、地域の方々とともに地域包括ケアの取り組みを進めます。

【重点事業】「緑区あんしんカード」の活用を周知します(福祉課、支所) 拡充
緊急連絡先などを記載した「緑区あんしんカード」が、効果的に活用されるよう、新たに「冷蔵庫に貼りましょうキャンペーン(仮称)」を実施します。 また、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯以外の方にも使えるように、引き続き、ウェブサイト「緑区あんしんカード」に掲載するほか、区役所、支所等で配布します。
目標：ケアマネサロン等で「緑区あんしんカード」活用のサポートの依頼 3 回

【重点事業】障害のある人が作った製品の販売を支援します(福祉課、支所)
障害者の就労を支援し、障害への区民理解を深めるため、区役所・ユメリア徳重内に「みどり福祉の店」を設置するほか、ショッピングモールにおける「みどり福祉の店フェア」の開催や、ニーズを把握するとともに地域等と連携し、販売機会の拡大を図るなどの支援をします。
目標：展示販売コーナーの設置 330 回(4 年度実績 306 回)

あたたかく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします (福祉課、支所、緑区社会福祉協議会)
高齢者の孤立防止のため、民生委員や老人クラブの見守り活動を支援します。また、各地域で行われている見守り活動の情報を収集し、先進的な取り組みが他の地域に広がるよう紹介します。加えて、高齢者見守り協力事業の趣旨を周知し、登録事業者が増えるよう努めます。
目標：見守り活動の情報交換の実施

認知症になっても支え合って暮らせる地域づくりをめざします (福祉課、支所、保健センター、いきいき支援センター)
認知症への理解を深めるため、区民向けの啓発イベントや認知症サポーター養成講座を実施します。また、当事者・ご家族が地域で安心して暮らすために役立つ「認知症の方にやさしい店」や「認知症カフェ」の登録推進及び周知を行います。
目標：区民向け啓発イベントの実施 1 回(4 年度実績 1 回)

地域支えあい活動を支援します（緑区社会福祉協議会、福祉課、支所、保健センター）
ちょっとした困りごとを、住民どうしの力で解決しあう取り組みである「地域支えあい事業」の必要性を PR し、実施地域の拡大に努めます。
目標：地域支えあい事業新規実施学区 1 学区

老人クラブへの加入促進を支援します（福祉課）
老人クラブの魅力や活動を広く周知し、加入を促進するため、区役所などのモニター放映、広報なごやでの広報を引き続き行うほか、活動に関心をもってもらえる方策について老人クラブと一緒に検討します。

緑区自立支援連絡協議会の活動を通して障害のある人がいきいきと暮らせるまちをめざします （福祉課、民生子ども課、支所、保健センター、緑区障害者基幹相談支援センター）
障害のある人もない人も、人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現をめざすため、「緑区自立支援連絡協議会」にて障害のある人の自立や地域理解の促進に向けた取り組みを進めます。

「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します （福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター）
障害への区民理解を深めるため、障害のある人もない人も参加できるイベント「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します。
目標：イベント開催 1 回（4 年度実績 1 回「ミドリアートフェスティバル」開催）

高齢者に合わせた体操の普及を通じて介護予防に取り組みます （保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会）
“子どもから大人までみんなにきらきら輝いてほしい”という思いが込められ、大人も子どもも取り組める緑区オリジナル「きらきらマン体操」を普及し、介護予防をすすめます。
目標：きらきらマン体操の実施回数 20 回 参加者数 300 人 （4 年度実績 実践回数 48 回 参加者数 1,133 人）

施策 8 健康づくりができるまち

【重点事業】人と魅力資源をつなげる仕掛けづくりに取り組みます 新規 (プロジェクトチーム) 緑区の豊かな自然・起伏、観光資源と、区民の皆さん、支えてくださるサポーター、企業など様々な人をつなぐとともに、区民に緑区をもっと好きになってもらうプロジェクトを展開します。 具体的には「健康」を切り口に人・資源・施策をつなぐ健康ウォーキングを実施します。 【区の特性に応じたまちづくり事業】 【「区まちづくり基金」を活用した事業】 目標：1 コース整備・オープン

ポールウォーキングを通じた健康づくりを推進します（保健センター） 簡単に取り組める健康づくりの入口として、ポールウォーキングを推進します。初心者講座の開催、緑区の各所を回るウォーキングマップの配布などを通じて、広く区民の皆さんが健康づくりに取り組みやすい環境を整えます。 目標：・ポールウォーキング講座：実施回数 10 回、参加者 150 人 ・参加者の満足度：100%（4 年度実績 9 回）

区内各所にスポーツ指導者を派遣します（緑スポーツセンター） 区内産業と連携し、区民が「お得」に「楽しく」健康づくりに取組める仕組みをつくり、健康無関心層も含めた区民の健康意識を高めます。 さらに「健康づくりはまちづくり」という観点から、社会貢献および社会参加も促していきます。 目標：実施回数 10 回（4 年度実績 8 回）

市民向け健康講座を実施します（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院） 名古屋市立大学と緑区役所は平成 29 年 3 月に連携協力に関する協定を締結しております。令和 5 年度より大学病院化するにあたり、連携協力事項でもある、福祉・健康・医療等をテーマとした「市民向け健康講座」を開催することにより、予防医療など地域の皆様の健康づくりを支援します。 目標：実施回数 年 4 回（4 年度実績 1 回）

将来像 3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

将来ビジョンの成果指標	将来ビジョン 策定時の数値	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
緑区の魅力や歴史・文化で区外の人に 紹介したいものがある人の割合	47.8%	47.8%	65%
週 1 回以上の頻度で運動・スポーツを 実施する人の割合	39.0%	42.7%	48%



《令和 5 年度の具体的な取り組み内容》

施策 9 魅力の発信と観光推進

【重点事業】緑区の魅力を発信します（地域力推進室）
緑区をおもてなしの心にあふれ、魅力ある観光地域として発展させていくため、「緑区観光推進協議会」の活動を推進します。令和 5 年度は、大河ドラマで注目が集まる緑区の魅力をイベントやキャンペーンで発信するとともに地域の方と協働で施策を検討し、より地域に密着した事業展開を目指します。
【区の特性に応じたまちづくり事業】 【「区まちづくり基金」を活用した事業】
目標：観光 PR キャンペーンで実施する各種アンケートにおける緑区の様々な魅力に関する認知度 95%（4 年度実績 99%）

「みどりっち」を活用して緑区を PR します（地域力推進室）
区民の皆さまの緑区への愛着を高めるとともに、緑区の魅力を効果的に PR するため、緑区のマスコットキャラクターである「みどりっち」を積極的に活用します。
目標：アンケートで「みどりっち」を知っていると答えた方の割合 95% （4 年度実績 92%）

施策 10 歴史・伝統の継承

伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の普及や PR を図ります (東部・緑農政課、緑生涯学習センター)
あいちの伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の普及・PR を図るため、新たに地域の保育園と協力しながら、区役所玄関前花壇において展示栽培を行います。また、イベントや区役所・支所等での大高菜の種子配布のほか、生涯学習センターと共催で大高菜を使った料理教室も行います。
目標：大高菜の種子配布 800 人（4 年度実績 890 人）

【重点事業】歴史文化交流支援事業を推進します（地域力推進室）
緑区の歴史的・文化的な魅力を発信するとともに、区民の皆さまが地域への愛着を深められるよう、散策会や歴史イベントなどを実施し、歴史・文化を発信します。
目標：参加者アンケートで「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 95% (4 年度実績 97%)

区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター）
緑区への関心をより一層高め、多くの方が緑区に愛着を感じ、誇りを感じることができるよう、緑区の歴史や文化、自然にちなんだ内容など緑区の魅力を学んだり、子育てについての学びやコミュニティーづくり、地域のマイスターグループ活動を体験するなど、まちづくりに関わる人が育ったりする講座を開催します。
目標：緑区の特徴を活かした講座の開催 6 講座（4 年度実績 6 講座実施）

施策 11 文化・芸術・スポーツ活動の支援

緑区民美術展を開催します（地域力推進室）
区民の皆さまの日頃の創作活動の成果を発表していただくとともに、芸術への関心を深めるため、緑区文化協会と連携して区役所講堂において「緑区民美術展」を 9 月 21 日(木)から 9 月 23 日(土)まで開催します。
目標：来場者アンケートで「美術展を良いと思った」と答えた方の割合 97% (4 年度実績 98%)

緑区民舞台発表会を開催します（地域力推進室）
区民の皆さまの日頃の練習の成果を発表していただく場を提供するため、区役所講堂において「緑区民舞台発表会」を 11 月 18 日(土)に開催します。
目標：出場者アンケートで「出てよかったと思った」と答えた方の割合 92% (4 年度実績 86%)

緑フェスタを開催します（緑文化小劇場）
劇場練習室を利用する文化団体に発表の場を提供するとともに、団体同士の交流の場を創出するため、文化祭「緑フェスタ」を開催します。地域の方々が気軽に立ち寄れるように、フリーマーケットや屋台の出店を行います。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%（4 年度実績 92%）

地域劇団「劇団みどり」の活動を支援します（緑文化小劇場）
小劇場の演劇ワークショップから誕生した「劇団みどり」の公演の実施と年間を通じた稽古活動をサポートします。劇団が新しいコミュニティとなり、地域の方々が健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現に貢献します。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 75%（4 年度実績 73%）

生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進室）
幅広い世代の方が気軽にスポーツに親しみ、継続していくきっかけとすることができるよう、各種スポーツ大会を開催します。 また、ユニバーサルスポーツ(※)に親しむ機会を作り、その普及振興を図るため、ユニバーサルスポーツ用具(ボッチャ)の貸出しを行います。 (※年齢・性別・障害の有無にかかわらず誰もが一緒に楽しめるスポーツ)
目標：スポーツ大会の総参加者数 3,600 人（4 年度実績 2,366 人）

将来像 4 親しまれ信頼される区役所づくり

将来ビジョンの成果指標	将来ビジョン策定時の数値	直近の現状値	目標値 令和 5 年度
窓口アンケートにおいて、窓口対応に「満足」と答えた人の割合	97.6%	97.6%	100%
区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う人の割合	37.0%	38.7%	45%



《令和 5 年度の具体的な取り組み内容》

施策 12 快適な市民サービスの提供

広報・情報提供の多様化を図ります（地域力推進室、総務課、企画経理室）
区ホームページ、フェイスブックなどインターネット上の広報及び新聞やテレビなどの広報媒体を利用した情報発信に積極的に取り組みます。また、区民へ情報がしっかりと伝わるよう、広報なごや区版の分かりやすい紙面づくりに取り組みます。 【区の特성에応じたまちづくり事業】 【「区まちづくり基金」を活用した事業】

フロアサービスを実施します（区役所（総務課）、支所）
お客さまの円滑な諸手続きのため、フロアサービス員を配置し、窓口案内などを行います。

お誕生オリジナルお祝いカードをプレゼントします（市民課、支所）
窓口に出生届をご提出されたお客さまに、お子さまの健やかな成長の願いを込めて、緑区オリジナルのお祝いカードを進呈します。

区民意見を区政に反映させます（区役所、支所）
区民意見を区政に反映するために、区政運営方針（案）に対する意見募集、区民アンケートなどによる事後評価を行います。また、区政全般に関わる事項を議論する「緑区区民会議」、ワークショップ形式の「みどりっちプラン会議」などを開催します。これらの機会を活用し、区民意見をきめ細かく取り入れた区将来ビジョン（令和 6 年～令和 10 年）を策定していきます。
目標：区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合 70%（4 年度実績 65%）

おくやみコーナーを設置します（総務課、支所） 新規
お客様の円滑な諸手続きのため、身近な方が亡くなられた後の区役所における必要な手続きをサポートする「おくやみコーナー」を設置します。

施策 13 区役所機能の強化

職員の災害対応能力を伸ばします（総務課）
職員の災害対応能力を向上させるとともに、各学区の担当職員をあらかじめ定め、学区の避難所開設訓練をはじめ各種防災訓練に参加します。
目標：アンケートで「理解が深まった」と答えた職員の割合 95%（4 年度実績 93%）

職員の業務遂行能力を伸ばします（総務課、企画経理室）	拡充
市民満足度向上のため、接遇・経理事務などの職員研修を行うほか、職員の得意分野や能力を業務に活かせるような取組みを新たに実施するなど、職員の業務遂行能力と業務意欲の向上を図ります。	
目標：アンケートで、窓口対応に「満足」と答えた方の割合 97%（4 年度実績 98%）	

《令和5年度自主的・主体的な区政運営予算執行計画》

区役所が自主性・主体性を発揮した取り組みを行うための予算として、令和5年度は人口規模等を勘案して、11,007,000円が緑区に配当されました。その執行計画は次のとおりです。

1 安心・安全で快適に暮らせるまち 金額 7,336,000円

- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を開催を支援します
- ・緑区区民まつりを開催します
- ・町内会・自治会への加入を促進します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいいきと暮らせるまち 金額 2,464,000円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します
- ・障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します
- ・健康志向のコミュニティづくりをめざします

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち 金額 789,000円

- ・緑区の魅力を発信します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり 金額 418,000円

- ・区民意見を区政に反映させます

合計 11,007,000円

《令和5年度区の特性に応じたまちづくり事業執行計画》

区の課題に対し、地域住民とともに重点項目として取り組むために、以下の事業を実施します。事業の実施にあたっては、皆さまからのふるさと納税をはじめとした寄付金を積み立てた「区まちづくり基金」を活用させていただきました。

金額 8,694,000円

（うち区まちづくり基金活用額 1,622,000円）

- ・“魅力”がずーっとプロジェクト
- ・“ありがとう”がずーっとプロジェクト
- ・“元気”がずーっとプロジェクト
- ・緑区魅力発信事業2023

《令和4年度自主的・主体的な区政運営予算執行実績》

1 安心・安全で快適に暮らせるまち 金額 6,420,205円

- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・災害への備えを充実するため、普及啓発を推進します
- ・緑区区民まつりを開催します
- ・町内会・自治会への加入を促進します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち 金額 2,588,499円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します
- ・「緑区あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します
- ・障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します
- ・新型コロナウイルスなどの感染防止にかかる巡回指導などを実施します
- ・健康志向のコミュニティづくりをめざします

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち 金額 1,229,000円

- ・緑区の魅力を発信します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり 金額 314,252円

- ・区民意見を区政に反映させます

合計 10,551,956円

《令和4年度区の特성에応じたまちづくり事業執行実績》

金額 3,000,000円

(うち区まちづくり基金活用額 99,000円)

- ・緑区魅力発信事業2022